

令和元年6月4日

朝礼講話

先日の体育大会本当にお疲れ様でした。皆さんの演技、係活動の様子は本当に素晴らしいと思いました。特に、ソーラン節の演技は迫力があってよかったですと思います。学年の先生方も、みんなに負けないようどうやったら体育会が盛り上がるかみんなががんばれるか毎日準備していました。体育科の先生方は、毎日遅くまで準備をし、給食もほとんど食べる時間もなく頑張ってくれました。今年の体育会は、今まで以上に先生と生徒が一つになって取り組んだ体育会だったと思います。

さて、今日は、チームプレーについて話をします。先ほどの話のように、生徒みんなが先生たちの思いに負けないように頑張る。(先生が生徒に負けまいと頑張る。) 1, 2年生が3年生の思いに応えようと頑張る。3年生が最高学年として1, 2年生をリードし、手本となって頑張る。みんなの気持ちが一つになったからこそ最高のものが完成したと思います。

これは、様々なところで大切になってきます。再来週行われる東地区の総体でも、自分だけ頑張っても結果は出ないけれどチームが一つになって、上手な選手が後輩をカバーし、その気持ちに後輩が応える事ができれば、今まで以上の力を出すことができます。

勉強もそうです。自分の勉強がわかるということは、わからない人にきちんと説明する力がつくことです。クラスみんながわかったと感じたり、みんながわかろうという雰囲気を作れば、得意な人はさらにわかるようになり、苦手な人も少しずつ理解できるようになってきます。

学校生活は、すべてにおいてチームプレーが試されています。是非、様々なところでチームプレーを発揮し、体育会に負けない最高の伊里中学校をみんなの力で作っていきましょう。